

別 表

かながわ健康プラン21(第3次) 目標値一覧

1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小

目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
1 健康寿命の延伸	平均寿命の延伸の増加分を上回る健康寿命の延伸をはかる	○健康寿命 男性：73.15年 女性：74.97年 ○平均寿命 男性：82.07年 女性：87.88年 (令和元年度)	○健康寿命 男性：一年 女性：一年 ○平均寿命 男性：一年 女性：一年 ※令和4年の健康寿命(令和6年度公表予定)	延伸(令和14年度) ※令和13年の健康寿命(令和15年度に公表予定)を用いて評価予定	国の計画と同様に、平均寿命の延伸の増加分を上回る健康寿命の延伸を目標値として設定した。
2 健康格差の縮小	「65歳からの平均自立期間」の下位4分の1の市町村の平均	○下位4分の1 男性：17.68年 女性：20.65年 ○上位4分の1 男性：19.14年 女性：21.98年 (令和元年度)	○下位4分の1 男性：一年 女性：一年 ○上位4分の1 男性：一年 女性：一年 ※令和4年の「65歳からの平均自立期間」(令和7年度に公表予定)を用いて算出予定	「65歳からの平均自立期間」の上位4分の1の市町村の平均の増加分を上回る下位4分の1の市町村の平均の増加(令和14年度) ※令和13年の「65歳からの平均自立期間」(令和16年度に公表予定)を用いて評価予定	国の計画の目標値の考え方に準じて、『「65歳からの平均自立期間」の上位4分の1の市町村の平均の増加分を上回る下位4分の1の市町村の平均の増加』を目標値として設定した。

2 個人の行動と健康状態の改善

2-1 生活習慣の改善

2-1-1 栄養・食生活

目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
3 適正体重を維持している者の増加(肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少)	BMI 18.5以上25未満(65歳以上はBMI 20を超え25未満)の者の割合(年齢調整値)	○20~60歳代男性の肥満者の割合：28.6% ○40~60歳代女性の肥満者の割合：21.7% ○20~30歳代女性のやせの者の割合：15.9% ○低栄養傾向(BMI 20以下)の高齢者(65歳以上)の割合：16.7% (平成29年~令和元年) ※現状値は年齢調整していない値	○20~60歳代男性の肥満者の割合：一% ○40~60歳代女性の肥満者の割合：一% ○20~30歳代女性のやせの者の割合：一% ○低栄養傾向(BMI 20以下)の高齢者(65歳以上)の割合：一% (令和6年度)	○20~60歳代男性の肥満者の割合の減少：23%未満 ○40~60歳代女性の肥満者の割合の減少：15%未満 ○20~30歳代女性のやせの者の割合の減少：12%未満 ○低栄養傾向の高齢者(65歳以上)の割合の減少：13%未満 (令和14年度)	国の傾向に合わせて設定した。
4 児童・生徒における肥満傾向児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合 ※評価には10歳(小学5年生)男女総計の割合を用いる予定	10歳(小学5年生)：10.94% (令和3年度)	一%(令和6年度)	令和5年度から開始する第2次成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(以下「第2次成育医療等基本方針」という。)に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。
5 バランスの良い食事を摂っている者の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	56.1%(平成29年~令和元年)	一%(令和6年度)	75%(令和14年度)	国の計画の目標値の考え方と同様に、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が「週に4~5日」、「週に2~3日」、「ほとんどない」者のそれぞれが2日程度増やすことで、「ほぼ毎日」の者が約20%増加することを見込んで設定した。

6	野菜摂取量の増加	野菜摂取量の平均値 【参考値】 野菜一日摂取量が350g以上の者の割合の増加 ※20歳以上	282.7g 【参考値】 30.1% (平成29年～令和元年)	—g (令和6年度)	350g以上 (令和14年度)	国の計画と同値に設定した。
7	果物摂取量の改善	果物摂取量の平均値 【参考値】 果物一日摂取量が200g未満の者の割合の減少 ※20歳以上	102.8g 【参考値】 ※果物一日摂取量が100g未満の者の割合の減少 57.0% (平成29年～令和元年)	—g (令和6年度)	200g (令和14年度)	国の計画と同値に設定した。
8	食塩摂取量の減少	食塩摂取量の平均値 【参考値】 食塩一日摂取量が7g未満の者の割合の増加 ※20歳以上	9.9g 【参考値】 ※食塩一日摂取量が8g未満の者の割合の増加 32.3% (平成29年～令和元年)	—g (令和6年度)	7g未満 (令和14年度)	国の計画と同値に設定した。

2-1-(2) 身体活動・運動

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
9	日常生活における歩数の増加	1日の歩数の平均値(年齢調整値)	○20～64歳 男性：8,168歩、女性：7,860歩 ○65歳以上 男性：6,131歩、女性：5,043歩 (平成29年～令和元年) ※現状値は年齢調整していない値	○20～64歳 男性：一步、女性：一步 ○65歳以上 男性：一步、女性：一步 (令和6年度)	○20～64歳 男性：9,000歩、女性：9,000歩 ○65歳以上 男性：6,500歩、女性：6,500歩 (令和14年度)	国の計画の考え方に基づいて設定した。
10	運動習慣者の増加	運動習慣者の割合(年齢調整値) ※1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合を集計	○20～64歳 男性：25.4%、女性：26.6% ○65歳以上： 男性：45.1%、女性：43.1% (平成29年～令和元年) ※現状値は年齢調整していない値	○20～64歳 男性：一%、女性：一% ○65歳以上 男性：一%、女性：一% (令和6年度)	○20～64歳 男性：35%、女性：35% ○65歳以上 男性：55%、女性：55% (令和14年度)	国の計画の目標値の考え方と同様に、現状値から10ポイント増加させた上で、覚えやすい目標値として設定した。
11	運動やスポーツを習慣的に行っていないことの減少	1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合 ※小学5年生女子の割合を用いる予定	小学5年生：女子13.8% (令和4年度)	一% (令和6年度)	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。

2-1-(3) 休養・睡眠

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
12	睡眠で休養が取れている者の増加	睡眠で休養が取れている者の割合（年齢調整値）	【参考値】 目覚めた時に疲労感が残る者の割合の減少 男性：17.7% 女性：16.5% （平成29年～令和元年） ※現状値は年齢調整していない値	○20歳～59歳：－% ○60歳以上：－% （令和6年度）	○20歳～59歳：75% ○60歳以上：90% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
13	睡眠時間が十分に確保できている者の増加	睡眠時間が6～9時間（60歳以上については、6～8時間）の者の割合（年齢調整値）	○20歳～59歳：47.1% ○60歳以上：56.1% （平成29年～令和元年） ※現状値は年齢調整していない値	○20～59歳：－% ○60歳以上：－% （令和6年度）	○20～59歳：60% ○60歳以上：60% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
14	週労働時間60時間以上の雇用者の減少	週労働40時間以上の雇用者のうち、週労働時間60時間以上の雇用者の割合	11%（令和5年）	－%（令和6年）	5%（令和7年） ※過労死等の防止のための対策に関する大綱の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画と同値に設定した。

2-1-(4) 飲酒

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
15	生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の割合	○男性：18.4% ○女性：12.2% （平成29年～令和元年）	○男性：－% ○女性：－% （令和6年度）	○男性：15.0% ○女性：7.0% （令和14年度）	国の計画と同様に、まずは現行プランの目標の達成を目指し、設定した。
16	20歳未満の者の飲酒をなくす	20歳未満の飲酒者の割合	○男性：16.1% ○女性：13.9% （平成29年～令和元年）	○男性：－% ○女性：－% （令和6年度）	○男性：0% ○女性：0% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
17	妊娠中の飲酒をなくす	妊婦の飲酒率	1.5%（令和3年度）	－%（令和6年度）	0%（令和14年度）	引き続き、現行プランの目標の達成を目指す。

2-1-(5) 喫煙

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
18	喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	20歳以上の者の喫煙率	○男性：27.4% ○女性：9.3% （平成29年～令和元年）	○男性：－% ○女性：－% （令和6年度）	○男性：21.5% ○女性：4.4% （令和14年度）	国の計画と同様の考えにより、現行プランで目標値を達成できなかったため、引き続き、現行プランの目標値の達成を目指す。
19	20歳未満の者の喫煙をなくす	20歳未満の喫煙者の割合	○男性：3.2% ○女性：0% （平成29年～令和元年）	○男性：－% ○女性：－% （令和6年度）	○男性：0% ○女性：0% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
20	妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	2.0%（令和3年度）	－%（令和6年度）	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。

2-1-(6) 歯・口腔の健康

目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
21	歯周病を有する者の減少	40歳以上における歯周炎を有する者の割合（年齢調整値）			
22	よく噛んで食べることができる者の増加	50歳以上における咀嚼良好者の割合（年齢調整値）	歯及び口腔の健康づくり推進計画で検討中		
23	歯科検診の受診者の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合			

2-1 生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防

2-2-(1) がん

目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
24	がんの年齢調整罹患率の減少	386.1（令和元年） ○胃がん：（男性）58.7、（女性）21.0 ○肺がん：（男性）57.7、（女性）24.4 ○大腸がん：（男性）72.2、（女性）45.1 ○子宮頸がん：12.5 ○乳がん：107.4	—（令和6年）	減少（令和10年度）	がん対策推進計画より。
25	がんの年齢調整死亡数の減少	75歳未満の10万人当たりのがんによる年齢調整死亡数 65.8（令和元年）	—（令和6年）	57.3（令和9年度）	がん対策推進計画より。
26	がん検診の受診率の向上	がん検診の受診率	左記と同値	60%（令和10年度） ※現状値記載のがん検診全ての受診率 ※基本計画の見直しに合わせて更新予定	がん対策推進計画より。

2-2-(2) 循環器病

目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
27	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡数の減少	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人あたり） ※評価には男性の脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率を用いる予定 ○男性 脳血管疾患：36.6 心疾患：64.5 【参考値】 ○女性： 脳血管疾患：19.0 心疾患：31.5 （平成27年）	男性：—（令和6年）	減少（令和10年度） ※基本計画の見直しに合わせて更新予定	国の計画に合わせて設定した。
28	高血圧の改善	収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の者を含む。）（年齢調整値） ○男性 136mmHg ○女性 129mmHg （平成29年～令和元年） ※現状値は年齢調整していない値	○男性：—mmHg ○女性：—mmHg （令和6年度）	基準値から5mmHgの低下（令和14年度） ※令和6年国民健康・栄養調査の結果を用いて具体的数値を設定予定	国の計画に合わせて設定した。
29	脂質（LDLコレステロール）高値の者の減少	LDL コレステロール160mg/dl以上の者の割合（40歳～74歳、内服加療中の者を含む。）（年齢調整値） 13.5%（令和2年度） ※男性：14.9%、女性：11.7%	—%（令和6年度）	基準値から25%の減少（基準値×0.75）（令和14年度） ※令和6年NDBオープンデータの結果を用いて具体的数値を設定予定	国の計画に合わせて設定した。

2-2-(3) 糖尿病

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
30	糖尿病の合併症（糖尿病腎症）の減少	糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数	883人（令和3年度）	一人（令和6年度）	700人（令和14年度）	国の現状値からの目標値への減少割合と同様に設定した。
31	治療継続者の増加	治療継続者の割合	71.1%（平成29年～令和元年）	—%（令和6年度）	80%（令和14年度）	県の直近の増加率を考慮して設定した。
32	血糖コントロール不良者の減少	HbA1c8.0%以上の者の割合（40～74歳）	1.31%（令和2年度） ※男性：1.82%、女性：0.63%	—%（令和6年度）	1.0%（令和14年度）	国の計画と同様に、県の現状値から25%減少すると仮定して、目標値を設定した。
33	糖尿病有病者の増加の抑制	糖尿病有病者数（糖尿病が強く疑われる者）の推計値（40～74歳）	27万人（令和2年度）	約一万人（令和6年度）	— ※算出に必要なデータ最新値の把握が令和5年中の予定	—

2-2-(4) COPD

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
34	COPDの死亡率の減少	COPDの死亡率（人口10万人当たり）	11.1（令和3年）	—（令和6年）	10.0（令和14年度）	国の計画と同値に設定した。

2-2-(5) 健診等

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
35	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率（特定保健指導対象者の減少率）	19.3%（平成20年度と比べた令和3年度時点の減少率）	—%（令和6年度）	平成20年度と比べて減少率25%以上（令和11年度）	医療費適正化計画より。
36	特定健康診査の実施率の向上	特定健康診査の実施率	56.2%（令和3年度）	—%（令和6年度）	70%（令和11年度）	医療費適正化計画より。
37	特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率	20.1%（令和3年度）	—%（令和6年度）	45%（令和11年度）	医療費適正化計画より。

2-3 生活機能の維持・向上

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
38	ロコモティブシンドロームの減少	足腰に痛みのある高齢者の人数（人口千人当たり）（65歳以上）	222人（令和4年度）	左記と同値	200人（令和14年度） ※令和13年度の値を用いて評価予定	国の計画と同様に、現状値の1割減を目標に設定した。
39	骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率	0.8%（令和2年度）	—%（令和6年度）	15%（令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
40	心理的苦痛を感じている者の減少	K6（こころの状態を評価する指標）の合計得点が10点以上の者の割合	9.7%（令和4年度）	左記と同値	8.7%（令和14年度）	国の計画と同様に、県の現状値から、10%減少で目標に設定した。

3 社会環境の質の向上

3-1 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
41	地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合	なし	—%（令和5年度）	45%（令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
42	社会活動を行っている者の増加	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている者の割合	なし（新規集計予定のため）	—%（令和6年度）	基準値から5%の増加（基準値+5%） （令和14年度） ※令和6年国民健康・栄養調査の結果を用いて具体的な数値を設定予定	国の計画に合わせて設定した。
43	地域等で共食している者の増加	地域等で共食している者の割合	なし	—%（令和6年度）	30%（令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
44	メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加	メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合	59.2%（令和3年度）	—%（令和6年度）	80%（令和9年度） ※労働災害防止計画の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画と同値に設定した。
45	心のサポーター数の増加	心のサポーター養成者数（累計）	675人（令和3年度）	一人（令和6年度）	33,000人（令和9年度）	かながわ自殺対策計画より。

3-2 自然に健康になれる環境づくり

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
46	「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」の推進	「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」への参画	未参画（令和5年度）	—（令和6年度）	参画（令和14年度）	国の計画に合わせて、当県の参画を目指す。
47	「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む市町村数の増加	潜在快適性等向上区域（まちなかウォークアブル区域）を設定している市町村数	4市（令和5年9月時点）	—市町村（令和6年度）	増加（令和7年度） ※社会資本整備重点計画の見直し等を踏まえて更新予定	国の目標値が100市町村だが、1都道府県につき2市町村が設定されていれば良いことになる。現状値が4なので、すでに本県は達成しているため、「増加」に設定した。
48	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	なし（新規集計予定のため）	—%（令和6年度）	望まない受動喫煙のない社会の実現（令和14年度）	国の計画に合わせて設定した。

3-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
49	スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体の増加	スマート・ライフ・プロジェクトへ参画し活動している企業・団体数	なし（新規にカウントするため）	—団体（令和6年度）	230団体（令和14年度）	国の目標値の算出方法に準じて設定した。
50	健康経営の推進	健康経営に取り組む企業数	1,998法人（令和4年度）	—法人（令和6年度）	検討中	新かながわブランドデザイン（仮称）より
51	利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	栄養成分（4項目）を表示している特定給食施設の割合の増加	94.1%（令和4年度）	—%（令和6年度）	100.0%（令和14年度）	引続き、全施設が栄養成分を表示することを目標に設定した。
52	必要な産業保健サービスを提供している事業場の増加	各事業場において必要な産業保健サービスを提供している事業場の割合	なし（新規目標項目のため）	—%（令和6年度）	80%（令和9年度） ※労働災害防止計画の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画と同値に設定した。
53	未病改善の推進	未病指標利用者数（累計）	171,259人（令和4年度）	—人（令和6年度）	検討中	新かながわブランドデザイン（仮称）より
54	未病センターの利用者数の増加	未病センターの利用者数（単年度）	305,582人（令和4年度）	—人（令和6年度）	493,000人（令和14年度）	「第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、令和6年度までに429,000人という目標を定めており、以後、一定水準で増加するものとした。

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

4-1 こども

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
再掲	運動やスポーツを習慣的に行ってないこどもの減少（再掲）	1週間の総運動時間（体育授業を除く。）が60分未満の児童の割合 ※小学5年生女子の割合を用いる予定	小学5年生：女子13.8% （令和4年度）	—%（令和6年度）	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。
再掲	児童・生徒における肥満傾向児の減少（再掲）	児童・生徒における肥満傾向児の割合 ※評価には10歳（小学5年生）男女総計の割合を用いる予定	10歳（小学5年生）：10.94% （令和3年度）	—%（令和6年度）	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。
再掲	20歳未満の者の飲酒をなくす（再掲）	20歳未満の飲酒者の割合	○男性：16.1% ○女性：13.9% （平成29年～令和元年）	○男性：—% ○女性：—% （令和6年度）	○男性：0% ○女性：0% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
再掲	20歳未満の者の喫煙をなくす（再掲）	20歳未満の喫煙者の割合	○男性：3.2% ○女性：0% （平成29年～令和元年）	男性：—% 女性：—% （令和6年度）	○男性：0% ○女性：0% （令和14年度）	国の計画と同値に設定した。

4-2 高齢者

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
一部再掲	低栄養傾向の高齢者の減少（適正体重を維持している者の増加の一部を再掲）	BMI 20以下の高齢者（65歳以上）の割合	16.7%（平成29年～令和元年）	—%（令和6年度）	13%未満（令和14年度）	国の傾向に合わせて設定した。
再掲	ロコモティブシンドロームの減少（再掲）	足腰に痛みのある高齢者の人数（人口千人当たり）（65歳以上）	222人（令和4年度）	左記と同値	200人（令和14年度） ※令和13年度の値を用いて評価予定	国の計画と同様に、現状値の1割減を目標に設定した。
一部再掲	社会活動を行っている高齢者の増加（社会活動を行っている者の増加の一部を再掲）	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている高齢者（65歳以上）の割合	なし（新規集計予定のため）	—%（令和6年度）	基準値から10%の増加（基準値+10%） （令和14年度）	国の計画に合わせて設定した。

4-3 女性

	目標	指標	現状値	基準値	目標値	目標値の考え方
一部再掲	若年女性のやせの減少（適正体重を維持している者の増加の一部を再掲）	BMI 18.5未満の20～30歳代女性の割合	15.9%（平成29年～令和元年）	—%（令和6年度）	12%未満（令和14年度）	国の傾向に合わせて設定した。
再掲	骨粗鬆症検診受診率の向上（再掲）	骨粗鬆症検診受診率	0.8%（令和2年度）	—%（令和6年度）	15%（令和14年度）	国の計画と同値に設定した。
一部再掲	生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している女性の減少（生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少の一部を再掲）	1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合	12.2%（平成29年～令和元年）	—%（令和6年度）	7.0%（令和14年度）	国の計画と同様に、まずは現行プランの目標の達成を目指し、設定した。
再掲	妊娠中の喫煙をなくす（再掲）	妊婦の喫煙率	2.0%（令和3年度）	—%（令和6年度）	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定 ※成育医療等基本方針の見直し等を踏まえて更新予定	国の計画に合わせて設定した。
再掲	妊娠中の飲酒をなくす（再掲）	妊婦の飲酒率	1.5%（令和3年度）	—%（令和6年度）	0%（令和14年度）	引き続き、現行プランの目標の達成を目指す。